PRESS RELEASE

独立行政法人国際協力機構
関西センター
2026 年 9 月 24 日

京都の『伝統と革新』を世界へ

12 か国の行政官らが産官学金連携によるイノベーション創出を学ぶ

アジア、中東、アフリカ、中南米、欧州の 12 か国から、イノベーション政策や産業振興に携わる行政官らが来日し、京都における産官学金連携やイノベーション創出の取組を学びます。

JICA 関西は、課題別研修「イノベーション促進による新産業の創造・振興」において、12 か国のイノベーション促進に関わる参加者を対象に、自国での産業振興政策への活用を見据え、日本のイノベーション・エコシステムや産業支援の仕組みを学ぶ研修を実施します。

京都プログラムでは、10 月 1 日に京都知恵産業創造の森による産官学金連携の取組を学びます。また、行政、大学、金融機関などの異なる主体をつなぎ、新たな事業や産業の創出を支援する「仲介役（インターミディアリー）」の役割について、関係者から、その役割や重要性について学びます。

さらに、10 月 3 日には西陣織の老舗である誉田屋源兵衛株式会社を訪問します。同社は創業 280 年以上の歴史を有し、伝統技術を継承するだけでなく、フィリピンの天然繊維「アバカ」を活用した帯や JICA 基金事業を実施する CLOUDY と協力して製造するガーナの伝統織物「ケンテ」の帯など、国内外の主体との連携による新たな価値創造にも取り組んでいます。

参加者は、京都のイノベーション創出を支える産官学金連携の仕組みと、伝統産業が連携や技術革新を実践する事例を学び、自国における産業振興や新産業創出施策への応用を検討します。世界各国の政策担当者は、日本のどのような仕組みや支援制度に可能性を見出すのか。京都で培われてきた知見は、各国の産業振興にどのように活かされるのか。参加者へのインタビューも可能です。ぜひご取材ください。

参加国：インドネシア、マレーシア、タイ、モンゴル、バングラデシュ、パキスタン、パナマ、ヨルダン、タンザニア、コンゴ共和国、セルビア、アゼルバイジャン
参加者：産業省・イノベーション省、政府投資ファンド、大学等の職員

【実施概要】

10 月 1 日（木）		場所
14:00–16:00	京都のイノベーションの取り組み紹介 産学金関係者の仲介者の役割についての討議	京都知恵産業創造の森 KOIN/京都経済センター3 階 （京都市下京区）
10 月 3 日（土）		場所
14:45ー	伝統産業からのイノベーション創出（仮）	誉田屋源兵衛株式会社 （京都市中京区）

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 関西　研修業務課　TEL　078-261-0383　e-mail: ksictp1@jica.go.jp